

### 3月11日（月） 全校朝会 校長先生のお話です

～卒業式について そして 3・11を忘れない～

お話をします。

今日は2つのことについてのお話をします。まずは、先週予告した通り、卒業式についてのお話をします。卒業式というのは、学校の行事の中で一番重要な行事です。子供たちの6年間の成長の姿を保護者のみなさんや、地域のみなさん、そして教育委員会の代表の人に見てもらう儀式であり、個人のイベントではありません。6年生にとってみんなと先生方で協力して創る小学校最後の授業です。ここにいる6年生以外のみなさんもやがて6年生になり、卒業式を経験します。今は、6年生の人数が多く、5年生は参列できませんが、今の3年生が6年生の時から、5年生も参列できるようになるでしょう。小さな学校は全員で参列し、中学校は原則全員です。6年生になった時に、小学校最後の授業であるという意識で臨んでください。

次に、今日は3月11日です。この日は13年前午後2時46分に東日本大震災が発災しました。大きな津波による被害、多くの方が亡くなり、まだ行方がわからない方も大勢います。また、原子力発電所の事故も伴い、13年たった今でも、課題は多く残っているようです。この震災を忘れないということで、毎年、この時期に全国で振り返りをしています。13年前の3月というと、6年生も生まれていません。だからこそ、毎年この時期の朝会でお話をしています。13年前を振り返るテレビ番組もありますので、ぜひ、この機会に見てください。そして、自分が自然災害にあった時、どういった行動ができるかを、どういった意識を持っておこななければいけないかを、確認してください。今日は、朝会の場で震災でなくなられた方々に亡くなったことを悲しむ気持ちを込め、黙とうを行います。校長先生の合図をお願いします。・・・ありがとうございました。

最後に、今日が1年生から6年生まで全員が体育館にそろっての最後の朝会になります。今日で4回目ですが、6年生が卒業前にできて本当に良かったと思います。来年度は、感染症の問題がない限り、毎週この形です。今年度のようにできるように、現5年生、そして4年生が後輩たちを引っ張って下さい。お話を終わります。